

# 2004年度国際学部 卒業論文

環境保全型スーパーを目指して  
～ “AEON” の環境対策を事例として～

宇都宮大学 国際学部

国際社会学科

紺野 美奈子

## 要約

本稿は、イオンという総合型スーパーの環境対策について分析、検証し、これからの時代に必要な究極の環境保全型スーパーとはどのようなものか独自の案を論じている。第一章でイオンという会社についての概要を述べ、第二章から第四章はイオンの環境対策を中心にそれに伴う問題や解決策などを論じていく。第二章では地球温暖化対策についてとりあげる。第一節で問題提起をし、第二節では二酸化炭素を吸収するための植樹活動をとりあげ、第三節では配送ルートの工夫などにより二酸化炭素排出量を規制していることについて述べる。第四節では24時間営業の弊害と題し、環境と経営の難しさについて論を展開させていく。第三章ではグリーン購入について論じた。イオンが買い手、売り手として両方の立場からどのようなグリーン購入がとられているかということを紹介する。第四章では廃棄物問題をとりあげゴミの量を減少させるための取り組みを紹介する。ここでは、第一節では衣料品売り場、第二節では生鮮売り場からと分け、イオン独自の取り組みを詳しく検証していく。またレジ袋問題やリサイクル問題にも触れ、ゴミを減らすためにどうすればいいか、独自の理論が展開されている。第五章では、イオンの課題と展望として、イオンを通じてみた理想のスーパー像、究極の環境保全型スーパーとはどのようなものかということについて述べた。

ちなみに本稿は決してイオンのイメージアップ、もしくはイメージダウンさせるために書かれたものではない。あくまでもイオンを日本の代表的なスーパーとして捉えている。

本稿を通じて、今後、地球環境を守るためにスーパーがどうあるべきか、またスーパーを中心として消費者や政府がどうあるべきかを考えるきっかけとなれば幸いである。

# 目次

はじめに	1
第一章 イオンとは	2
第二章 二酸化炭素排出量減少に向けて	
第一節 地球温暖化問題	4
第二節 二酸化炭素を吸収する取り組み	5
第三節 二酸化炭素の排出を抑える取り組み	5
第四節 24 時間営業の弊害	6
第三章 グリーン購入	
第一節 買い手としてのグリーン購入	9
第二節 売り手としてのグリーン購入	9
第四章 イオンから排出される廃棄物	
第一節 衣料品売り場の現場から	11
第二節 生鮮売り場の現場から	12
第三節 レジ袋を減らすには	13
第四節 店頭リサイクル	16
第五章 課題と展望	
第一節 残る課題点	18
第二節 政府に求めること	18
第三節 理想のスーパー像	19
おわりに	21
参考文献	22
あとがき	23